

様式例（法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」）

平成 28 年度の事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人ようこそ小城

1 事業の成果

・本年度も小城市からの委託事業として仕様書に基づいた作業を行ってきました。相談対応業務、団体調査業務を小城市市民活動センターで行いました。他の市民活動センターの視察も行いました。佐賀市市民活動プラザ、宇美町ボランティア・町民活動支援センターふみらぼ、志免町まちづくり支援室、那珂川町ボランティア支援センターくるりんボの 4 か所訪れセンターの機能や活動の内容を聞いてきました。それぞれ小城市市民活動センターのスタッフを同伴しセンター運営に役立ててもらっています。

・センター事業の委託事業の他に協働推進事業市民協働啓発業務として「市民活動推進イベント」としておぎ未来デザインを行い、市民協働推進出前講座を 5 回行い、協働のまちづくり講座を 5 回行いました。協働推進に役立ててきました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 地域コミュニティづくりに関する事業	協働のまちづくり講座で、「ファシリテーションを学ぼう」でイ、「ファシリテーターの心得」、ロ、「グラフィックの技術習得」を開催しました。いずれも東信史氏を講師に呼んでの講座でした。この講座の目的は会議や打ち合わせをいかにスムーズに進行させるか、です。この講座を受けて、平成 29 年よりファシリテーション研究会を月一回立ち上げ技術の研鑽に努めています。	(A) 2 回実施 ファシリテーションを学ぼう 1 回目：ファシリテーションの心得 2 回目：グラフィックの技術習得 (B) 2 回とも夢ぶらっと小城会議室 (C) 2 回とも 4 名づつ	(D) 2 回とも小城市内の地縁団体、志縁団体、市民活動に関心のある方 (E) イ 18 名 ロ、17 名	434

②地域の環境を守る事業	当法人では直接事業は行っていませんが、「ふるさと・夢つむぎネットワーク」や「笑ろうてくらそっやっ会」の環境助成金取得を行い、事業協力もしてきました。	(A) (B) (C)	(D) (E)	0
③ICTの普及に関する事業	今年度は実施せず。	(A) (B) (C)	(D) (E)	0
④市民活動に関する相談及び助言、普及並びに情報収集	相談対応業務 小城市の委託事業として相談対応業務を行いました。	(A) 274日 (B) 小城市市民活動センター (C) 6名	(D) 小城市内の地縁団体、志縁団体 (E) 150名	3,753
	団体情報収集業務 登録団体は小城市のホームページやガイドブックに掲載、本年度7件、合計登録団体は37件になりました。	(A) 274日 (B) 小城市市民活動センター (C) 3名	(D) 小城市内の地縁団体、志縁団体 (E) 150名	2,000
	市民協働の啓発出前講座事業 16面のパワーポイントとリーフレットを用いて1回20分ほどの出前講座を行いました。	(A) 5回実施 1回目：牛津町婦人支部長会 2回目：小城歩こう会 3回目：小城市食生活改善推進協議会 4回目：小城市母子保健推進委員 5回目：小城町女性学級 (B) 1回目：牛津公民館別館 2回目：市民活動センター 3回目：アイル多目的室 4回目：アイル集団指導室 5回目：ゆめぷら	(D) 小城市内の地縁団体、志縁団体 (E) 1回目：20名 2回目：17名 3回目：15名 4回目：39名 5回目：52名	30

		つと小城天山 ホール (C)各会場 2名		
⑤ 市民活動 を行う者 同士及び 公共部門 又は民間 部門との 連携事業	おぎ未来デザインを市民活 動推進イベントとして開 催 小城市内のCSOを集め、津 屋崎ブランチの山口覚氏 を招きまちづくりの在り 方についてワークショップ を行いました。	(A)平成 28 年 12 月 4 日 (B)ゆめぷらっと 小城天山ホー ル (C)15名	(D) 小城市 内の地縁 団体、志 縁団体 (E)50名	159
⑥ 市民活動 に関する 政策提言 事業	佐賀県CSO提案型協働創 出事業参画 小城市内の団体から提案を 受け付けている。 5 件の提案が有り採択は 3 件、不採択は 2 件でした。	(A)90日 (B)小城市市民活 動センター (C)2名	(D) 小城市 内の地縁 団体、志 縁団体 (E)5名	27